



この人たちが新聞を

作っているのです

新聞会のひよこひよこ



加藤信夫

「てるおくん、明日はぜひともお天気にしておくれね。ぼく遠足なんだ。」



宮原勇人

我が新聞会は、大変個性の強いメンバーで構成されています。いつも変な事を言ったり奇声を発している、ところが足が長くハンサムなヘビースモーカーのY氏、コンピュータに強く、知的なふれくるクールなR氏、仕事の合間をぬってナンハンを乗りまわす



矢部健

K氏、そしてわたくし、NSRを駆るダンディイムくん、以上が二年生の主なメンバーであります。三年生はどうかといいますが、三つ見ても美しいO嬢をはじめ多数おりますが、私は二年生の身であります。ここで公表するのは差し控えていたのだと思います。なにもあれ、一度新聞会に顔を出してみたいので、そのために最後、あなたの人生活は「い」からと変わるでしよう。



李英

(私はおめです) 新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。皆さんは今から最低でも4年間の学生生活を送ることになります。しかし、大学の性質と個人の性格があつた個性と個性があつた個性が送れないで、実した学生生活を送れないで、質問をします。その該当するものに○を



黒木宏隆

①狂科学者志望である。②自分を根暗と思う。③恋人は必要。④ブランド志向がない。⑤実験が大好きである。⑥都会より田舎が好き。⑦雪道、山道も平気。⑧一応自主性あり。⑨人生は爆発だ。⑩以上の項目の内四つ程度が、あればこの大学に慣れるだろう。健闘を祈る。



田原利久

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。本について少し書きたいと思つています。皆さんは、たぶん、教科書をも手に入れて、本を読みましたが、まだ、読んでいない人がほとんどです。目を通してどういう流れで勉強するかという流れで、参考書といふものがあり、本をえらび、自分が使う気にならないと駄目です。これだけ、覚えておきましょう。最後に、一番好きな勉強法は、その日にやったことを、その日のうちに、自分でわかるとでしよう。



新田修

人生には、変換期と言うものがある。変換期。自分と他人との位置関係が変化することだ。大学生ともなれば、今まで我慢していたあんな事やこんな事、色々なことが出来るようになる。それと同時に、今まで最上級生だったのが下級生になり、べこべこ頭を下げるようになったりも出てくる。下手すると年下の先輩に敬語を使う。年上の同級生や後輩とうまく付き合つて行かなくてはならない。これは、社会に出れば当たり前だ。

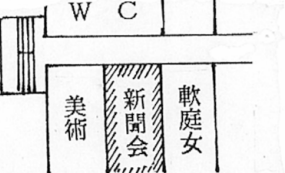


大坪素子

その第一の修行の為の大学、委員会、部活であると思つてくれれば、幸いである。何とか、各々が自分なりにいい変換期を送つて欲しい。と格好つけて、筆をおく。柄じゃないが。

これからの新聞会の活動予定

- 4/7 (土) クラスオリエンテーション (顔合せ)
- 4/12 (木) 第一回編集会議
- 4/17 (火) 第二回編集会議
- 4/26 (木) 新入生歓迎会 (ボーリング、御食事会)
- 5/10 (木) 新入生歓迎コンパ



新聞会の部屋は右図参照 気軽にドアを叩いてみてください

◎なお、第二回以降編集会議は毎週火曜日午後1時より行います。◎新聞会室は部室棟二階にあります。

新聞会の魅力をここに

新聞会編集部員 矢部健一

私が新聞会に入ったのは去年の春、そう、まだ私が新聞会だった頃の事です。新聞会という妙な響きに誘われた私は、誘われたのと同じく、会室へと赴いたのでした。「新聞会」と銘打たれたドアを開けると、そこには紫煙に霞む幻想的な空間が広がっていました。空気が静かです。最後の一節で賢明な読者の皆さんはお分かります。会室は禁煙ではありません。この事は非常に評価していい。何故ならば私はニコチン中毒者です。この禁煙の厳格な方針は、私にとって非常に重要なポイントです。おきませんが、これを義務教育時代の作文のように頂きたいです。